

令和 8 年 2 月 27 日

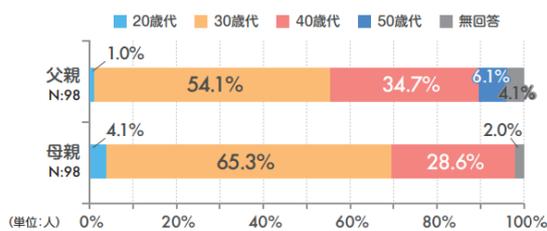
第 2 回家事等の負担軽減に資するサービス
利用促進に関する関係府省連絡会議

ベビーシッター事業（認可外居宅訪問型保育事業）の現状について

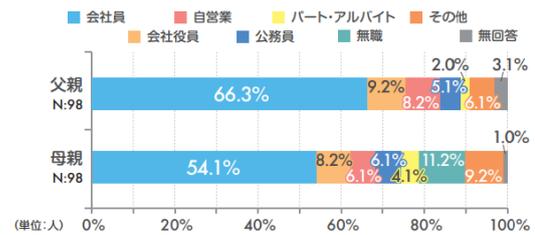
公益社団法人全国保育サービス協会

○主な顧客層（共働き子育て等）

■ 保護者の年齢(父母)



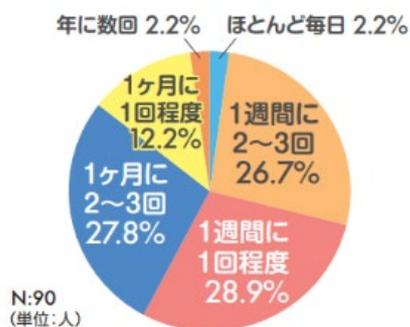
■ 保護者の職業(父母)



令和 5 年度実態調査報告書—BABY SITTER NOW 2024 より

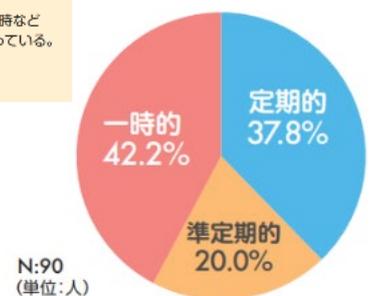
○利用頻度（定期・スポットの割合）、平均利用時間、平均利用料金（世帯/時間）

■ 利用頻度



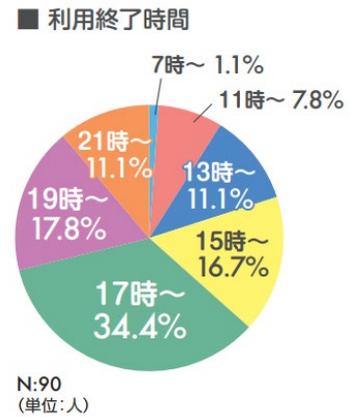
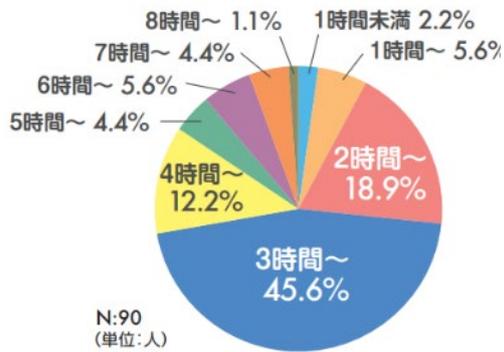
■ 家庭訪問保育の利用形態

- 定期的(レギュラー) 利用する曜日や時間帯が決まっている。
- 準定期的(準レギュラー) レギュラーではないが、残業の時など利用パターンがある程度決まっている。
- 一時的(スポット) 利用パターンが決まってない。



令和 5 年度実態調査報告書—BABY SITTER NOW 2024 より

1回あたりの平均利用時間数



利用している子どもの人数別 1ヶ月あたりの平均利用料金



令和5年度実態調査報告書—BABY SITTER NOW 2024 より

○主なサービス提供内容

- * こどもの居宅における保育（保護者不在時、共同保育）
- * 送迎保育
- * 病児・病後児保育
- * 学童の保育
- * 産後ケア
- * 同行保育
- * 障害児の保育
- * 多胎児（双生児）の保育

○都市部、地方部において顧客層・利用頻度・サービス提供内容等の差異について

ACSA 会員事業者の分布

北海道 2 社、関東（東京都を除く）15 社、東京都 42 社、甲信越 2 社、
中部 8 社、北陸 2 社、関西 16 社、中国 7 社、四国 2 社、九州・沖縄 8 社

割引券利用者の居住地 ※R6 地域間偏在に関する調査研究より

東京都 46.1%、神奈川県 12.9%、大阪府 7.9%、千葉県 6.1%、埼玉県 4.1%、
愛知県 3.4%、福岡県 2.9%

○依頼数とスタッフ数のバランス

依頼数（需要）に対するスタッフ数（供給）のバランスは、特に都市部においては
不均衡状態にあり、供給不足が続いている。単純な要員不足に加え以下のような条件
ミスマッチの存在がある

- ・勤務時間に関する条件（17-20 時など特定時間帯への集中）
- ・勤務場所に関する条件（駅からの距離やバス利用等）
- ・シッティング環境に関する条件（家人在宅中の保育）

○利用を開始するきっかけとなった主な理由

- ・特に都市部においては、自治体によるベビーシッター利用についての助成制度等が
きっかけとなるケースがみられる
- ・SNS 等含め情報接触経路の増加
- ・ライフイベントに起因する変化

○利用のハードルは何か、契約に至らなかったケースにはどのような理由があるか

* 経済的ハードル

1 時間あたりの平均利用料金（基本時間・会員料金）

東京：2,584 円、東京以外：2,175 円

令和 6 年度実態調査報告書—BABY SITTER NOW 2025 より

* 心理的ハードルと信頼性

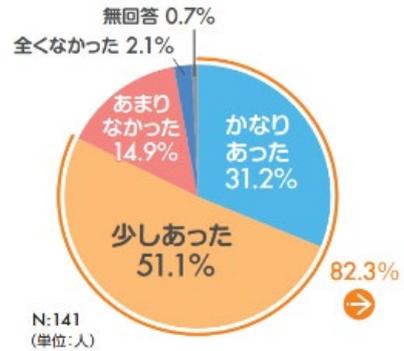
「他人を家に入れることへの抵抗感」や「密室での保育に対する不安」

- * 利用前の心配は利用後に大きく変化すること多いが、ベビーシッター利用の良さは、実際に利用してみないと実感できない。(次ページ 図参照)

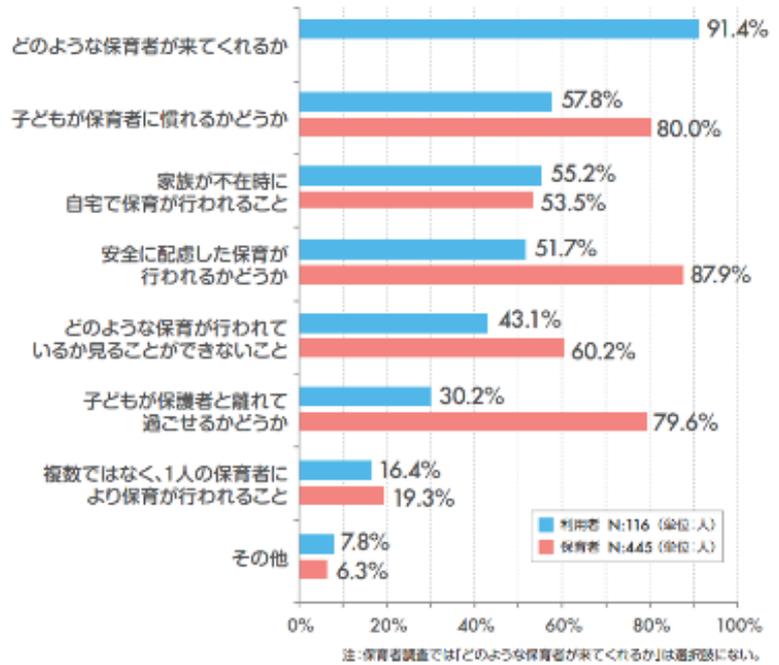
〔利用前と利用後の変化〕

令和4年度実態調査報告書—BABY SITTER NOW 2023 より

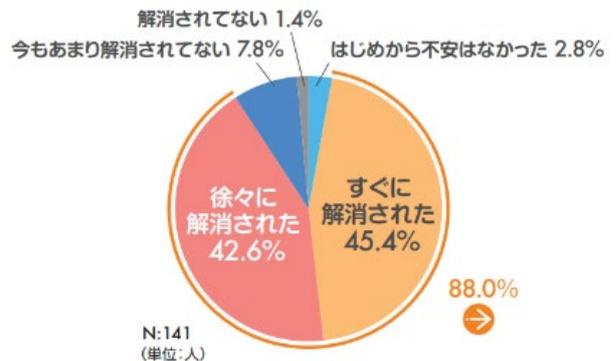
初めて家庭訪問保育を利用する前の
利用への不安 [利用者調査より]



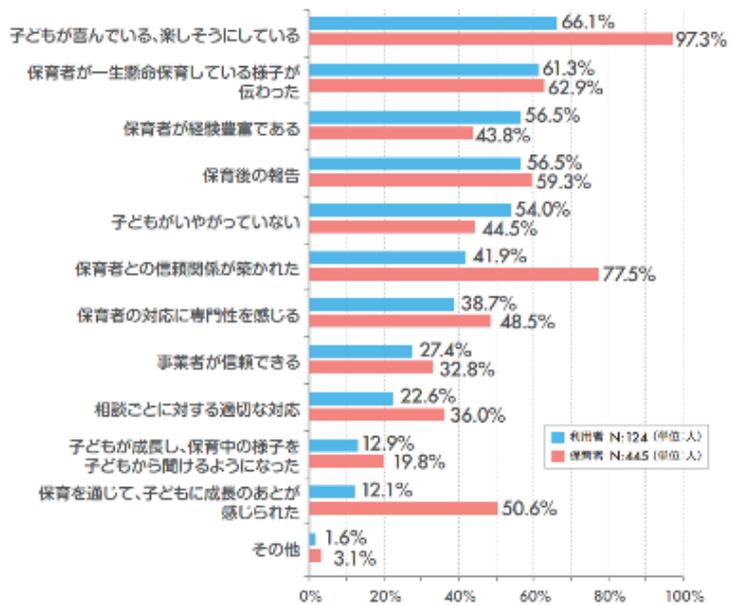
不安の内容 (複数回答)
[利用者・保育者調査より]



実際に利用して、不安は解消されたか
[利用者調査より]



不安が解消された要因 (複数回答)
 [利用者・保育者調査より]



○サービスの利用促進に向けて、業界としてどのように働きかけているか

印刷物や Web を通じて、ベビーシッターサービスの利用方法についての周知を図っている。また、利用者からの相談にも対応している。

○サービスの品質・信頼性の向上や多様な人材の育成・確保に向けて、業界としてどのような取組を実施しているか

[ACSA の取り組み]

* 研修の実施

従事要件としての研修「ベビーシッター養成研修」「ベビーシッター現任研修」
 資質の向上を図るための研修

有資格者要件を満たしたベビーシッターのさらなる研鑽のための研修

「ブラッシュアップ研修」「フォローアップ研修」

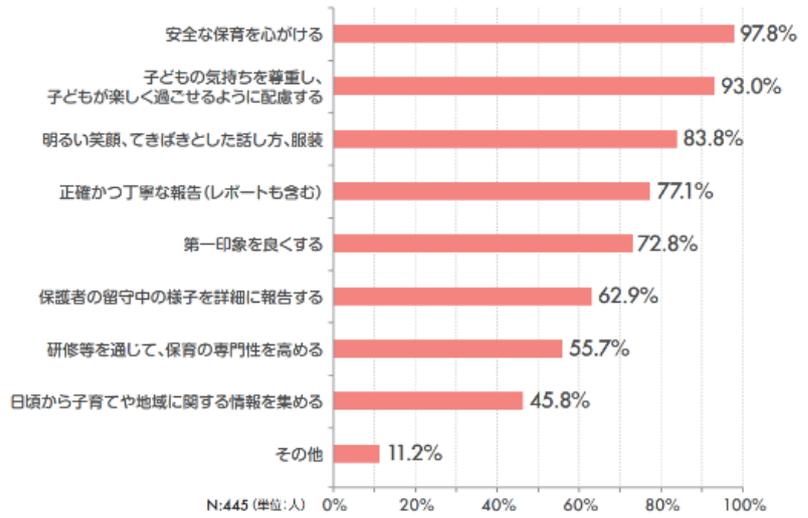
ベビーシッター事業者を対象とした研修

* テキスト、動画等の教材の作成

* 保育士養成校との連携

事業者が利用者からの信頼を得るために必要な取組

(複数回答) 【事業者調査より】



利用者が安心して家庭訪問保育を利用できるよう保育者が心がけていること

(複数回答) 【保育者調査より】

